

貸借対照表

(2021年3月31日現在)

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	23,206	流動負債	51,960
現金及び預金	13,270	営業未払金	5,994
営業未収入金	3,216	短期借入金	30,000
貯蔵品	14	リース債務	143
前渡金	871	未払金	3,080
未収入金	1,646	未払費用	526
前払費用	2,535	未払法人税等	16
その他	1,653	前受旅客収入金	4,564
固定資産	62,245	預り金	584
有形固定資産	18,607	定期整備引当金	6,888
建物	1,740	その他	160
構築物	2	固定負債	23,067
航空機材	15,597	リース債務	872
機械装置	1	返還整備引当金	2,497
車両運搬具	59	定期整備引当金	19,028
工具器具備品	523	資産除去債務	427
リース資産	650	その他	241
建設仮勘定	31	負債合計	75,027
無形固定資産	1,981	純資産の部	
ソフトウェア	568	株主資本	8,913
ソフトウェア仮勘定	1,401	資本金	100
その他	11	資本剰余金	8,900
投資その他の資産	41,656	利益剰余金	△86
関係会社株式	2	その他利益剰余金	△86
長期前払費用	209	繰越利益剰余金	△86
長期預け金	25,430	評価・換算差額等	1,510
敷金及び保証金	3,102	繰延ヘッジ損益	1,510
繰延税金資産	12,036	純資産合計	10,424
破産更生債権等	1	負債及び純資産合計	85,452
その他	876		
貸倒引当金	△1		
資産合計	85,452		

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

損益計算書

(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位：百万円)

科 目	金	額
事業収益		34,064
事業費		60,971
事業総損失		△26,907
販売費及び一般管理費		4,768
営業損失		△31,675
営業外収益		
受取利息	0	
為替差益	60	
助成金収入	2,453	
違約金収入	670	
保険金収入	88	
その他	158	3,431
営業外費用		
支払利息	307	
支払手数料	320	
デリバティブ評価損	624	
システム解約金	41	
その他	63	1,357
経常損失		△29,602
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別損失		
固定資産除却損	45	
減損損失	271	317
税引前当期純損失		△29,918
法人税、住民税及び事業税	33	
法人税等還付額	△370	
法人税等調整額	△13,239	△13,576
当期純損失		△16,342

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本 合計	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等 合計	
		その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益 剰余金 合計				
当期首残高	9,000	-	-	16,255	16,255	25,255	△3,614	△3,614	21,640
当期変動額									
減資	△8,900	8,900	8,900			-			-
当期純損失(△)				△16,342	△16,342	△16,342			△16,342
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	5,125	5,125	5,125
当期変動額合計	△8,900	8,900	8,900	△16,342	△16,342	△16,342	5,125	5,125	△11,216
当期末残高	100	8,900	8,900	△86	△86	8,913	1,510	1,510	10,424

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式及び関連会社株式 …… 移動平均法による原価法を採用しております。

2. デリバティブ取引の評価基準及び評価方法

時価法によっております。

3. たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯 蔵 品 …… ① 航空機部品

個別法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。

②その他の貯蔵品

最終仕入原価法を採用しております。

4. 固定資産の減価償却の方法

有 形 固 定 資 産

(リース資産除く)

建 物 …… 定額法(建物)及び定率法(建物附属設備)を採用しております。

ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備については定額法によっております。

なお、耐用年数は以下の通りであります。

建 物 10年～31年

建 物 附 属 設 備 3年～18年

航 空 機 材 …… 定額法(航空機)及び定率法(航空機部品)を採用しております。

なお、耐用年数は以下の通りであります。

航 空 機 12年～15年

航 空 機 部 品 8年～10年

その他の有形固定資産 …… 定率法を採用しております。

ただし、2016年4月1日以降に取得した構築物については定額法によっております。

なお、耐用年数は以下の通りであります。

構 築 物 10年～20年

機 械 装 置 8年

車 両 運 搬 具 2年～6年

工 具 器 具 備 品 2年～20年

無 形 固 定 資 産 …… 定額法を採用しております。

(リース資産を除く)

ただしソフトウェア(自社利用分)につきましては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

リ ー ス 資 産

(所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産) …… リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産)

自己所有の固定資産に適用する償却方法と同一の方法を採用しております。

リ ー ス 資 産)

5. 外貨建資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

6. 引当金の計上基準

貸倒引当金 …… 売上債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

定期整備引当金 …… 航空機材の定期整備費用の支出に備えるため、定期整備費用見積額を計上しております。

返還整備引当金 …… 航空機材の返還時に要する支出に備えるため、返還整備費用見積額を計上しております。

また、リース会社への預け金と返還請求可能額の差額から生じる回収不能見込額を計上しております。

7. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理につきましては、税抜方式を採用しております。

8. ヘッジ会計の方法

(1) ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。なお、振当処理の要件を満たしている為替予約については振当処理によっております。

(2) ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段 …… 為替予約、商品スワップ

ヘッジ対象 …… 外貨建予定取引、航空機燃料購入に係る予定取引

(3) ヘッジ方針

当社の社内規程に基づき、外貨建予定取引に対する外国為替相場の変動リスク及び航空機燃料に係る原油価格の変動リスクをヘッジすることを目的として、実需の範囲内で実施しております。

(4) ヘッジ有効性の評価

為替予約取引の締結時に実需への振当を行っているため、その対応関係の判定をもって有効性の判定に代えております。

(表示方法の変更に関する注記)

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2020年3月31日)を当事業年度の年度末に係る計算書類から適用し、計算書類に重要な会計上の見積りに関する注記を記載しております。

(会計上の見積りに関する注記)

(1) 繰延税金資産の算定

① 当事業年度の計算書類に計上した金額

科目	当事業年度
繰延税金資産	12,036百万円

② 識別した項目に係る重要な会計上の見積り内容に関する情報

当社は、繰延税金資産を認識するにあたり、将来の事業計画に基づく課税所得の発生時期および金額によって見積りを行っております。当社は、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、貸借対照表日以降本計算書類公表日までの間の予約状況の推移、各就航地における感染症拡大の状況等を総合的に考慮して適宜事業計画を機動的に見直しております。その結果、当期末決算において、新型コロナウイルス感染症の影響による航空需要の減少は、ワクチン接種が一定程度普及する秋口まで継続し、その後はコロナ禍以前の水準に回復していくとの前提をおき、2021年度以降における課税所得の発生可能性が高い範囲内で繰延税金資産の計上を行っております。この繰延税金資産の回収可能性については、上記の仮定に加え、過去の実績及び判断に基づいて合理的に見積りを行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響は不透明な要素が多く、将来における結果はこれらと異なる可能性があります。

(2) 定期整備引当金の算定

① 当事業年度の計算書類に計上した金額

科目	当事業年度
定期整備引当金	25,917百万円

② 識別した項目に係る重要な会計上の見積り内容に関する情報

当社は、航空機材の定期整備費用の支出に備えるため、定期整備費用見積額のうち、航空機の整備計画や過去の整備実績等に基づき整備が必要となるまでの運航回数に対して、当事業年度末までの運航回数の進捗に対応する部分の金額を定期整備引当金として計上しております。また、定期整備費用は、当期までの航空機整備の実績を基礎として見積りを行っております。当社では、各期末に当該定期整備費用見積額について最新の整備実績の状況を踏まえ見直しを行うことで定期整備引当金が適切かどうかを確認しており、将来発生が見込まれる整備費用について、必要十分な金額を引当計上していると考えておりますが、航空機の整備計画や整備内容の変更、及び臨時的な整備の発生等により、見積金額に影響を受ける可能性があり、翌事業年度の計算書類において、定期整備引当金の計上金額とは異なる整備費用が発生する可能性があります。

(3) 返還整備引当金の算定

① 当事業年度の計算書類に計上した金額

科目	当事業年度
返還整備引当金	2,497百万円

② 識別した項目に係る重要な会計上の見積り内容に関する情報

当社は、リース会社への航空機材返還時に要する支出に備えるため、返還時に必要となる整備費用見積額、及び、リース会社への預け金と返還請求可能額の差額から生じる回収不能見込額を合算し、返還整備引当金として計上しております。返還整備費用見積額は、リース会社と返還期日について合意した機体がある場合に、過去の返還時における整備費用の実績を基礎として見積りを行っております。また、リース会社への預け金と返還請求可能額の差額から生じる回収不能見込額についても、過去の機体返還時において回収不能となった預け金の金額等を基礎として見積りを行っております。当社では、これらの航空機材返還時に要する支出見積額について、最新の状況を踏まえ見直しを行うことで返還整備引当金が適切かどうかを確認しており、必要十分な金額を引当計上していると考えておりますが、返還時に必要となる整備費用の高騰や、航空機材の買取その他リース契約の条件変更等により、預け金の金額が大きく変動した場合、見積金額に影響を受ける可能性があり、翌事業年度の計算書類において、返還整備引当金の計上金額が修正される可能性があります。

(貸借対照表に関する注記)

1. 担保に供している資産及び担保に係る債務

(1) 担保に供している資産

航空機	10,994百万円
計	10,994百万円

(2) 担保に係る債務

短期借入金	30,000百万円
計	30,000百万円

2. 有形固定資産の減価償却累計額 17,825百万円

なお、減価償却累計額には減損損失累計額が含まれております。

(損益計算書に関する注記)

減損損失

用途	種類	減損損失
国際線予約システム	ソフトウェア	26百万円
国際線収入管理システム	ソフトウェア仮勘定	117百万円
国際線予約システム	ソフトウェア仮勘定	127百万円

当社はキャッシュ・フローを生み出す最小の単位として全社を単一の資産のグループとしております。

また、処分予定の資産や一定の事由をもって個別に管理することが可能な資産については個別に取り扱っております。

今般、当社においては一部の国際線関連システムについて、継続して開発及び使用をしないこととして意思決定を行ったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、その減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該資産の回収可能価額は使用価値を零として算定しております。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

(1) 発行済株式の種類及び総数

普通株式 45,000,000株

(2) 事業年度中に行った無償減資に関する事項

2020年11月16日開催の臨時株主総会決議に基づき、2020年12月21日付で無償減資を行いました。この結果、資本金を8,900百万円減少させ、その他資本剰余金に振り替えております。

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

(1) 繰延税金資産

返還整備引当金	863 百万円
定期整備引当金	8,964 百万円
減価償却超過額	46 百万円
資産除去債務	147 百万円
繰越欠損金	22,306 百万円
その他	72 百万円
<hr/>	
繰延税金資産小計	32,402 百万円
税務上の欠損金に係る評価性引当額	△14,735 百万円
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	△4,306 百万円
<hr/>	
評価性引当額小計	△19,041 百万円
<hr/>	
繰延税金資産合計	13,360 百万円

(2) 繰延税金負債

為替差損益	△441 百万円
繰延ヘッジ利益	△798 百万円
資産除去債務に対応する除去費用	△71 百万円
その他	△12 百万円
<hr/>	
繰延税金負債 (△) 合計	△1,324 百万円
<hr/>	
繰延税金資産の純額	12,036 百万円

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、運営資金については自己資金を基本とし、一時的な資金需要に対しては銀行等金融機関からの借入により資金を調達する方針であります。また、デリバティブ取引は、後述するリスクを回避するために利用しており、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である営業未収入金は、顧客の信用リスクに晒されております。また、外貨建の敷金及び保証金並びに長期預け金は航空機リース取引のために海外のリース会社へ外貨建の金額で預け入れているものであり、取引先の信用リスク及び為替の変動リスクに晒されております。

営業債務である営業未払金は、1年以内の支払期日であります。また、その一部には航空機部品の購入等に伴う外貨建のものがあり、為替変動のリスクに晒されております。

短期借入金の使途は運転資金であります。

ファイナンス・リース取引に係るリース債務は、主に設備投資に係る資金調達であります。

デリバティブ取引は、外貨建予定取引に係る為替の変動リスクに対するヘッジを目的とした為替予約取引及び航空機燃料に係る原油価格の変動リスクに対するヘッジを目的とした商品スワップ取引であります。ヘッジ会計の方法等については、「(重要な会計方針) 8. ヘッジ会計の方法」に記載しております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

営業債権である営業未収金については、社内規程に従い、主要な取引先の状況をモニタリングし、取引先ごとに期日管理をするとともに財務状況等の悪化等による回収懸念を早期に把握し、また、軽減を図っております。また、航空機リースに係る敷金及び保証金並びに長期預け金については、リース会社の選定時及びリース期間中において、その事業規模やアセットの状況、当社以外へのリース貸出状況等を確認することでリース会社の経営状況を早期に把握し、信用リスクの軽減を図っております。

② 市場リスク（為替や金利等の変動リスク）の管理

当社は為替相場の状況を踏まえ、一定期間における確実性の高い外貨建取引量を基準として、適宜、決済通貨を調達し保有しています。

デリバティブ取引の執行・管理については、デリバティブ取引に関する社内規程に従い担当者が決裁担当者の承認を得て行っております。

③ 資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は、資金繰表を適時に作成・更新することにより流動性リスクを管理しております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2021年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。
なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません（(注2)参照）。

	貸借対照表計上額 (百万円)	時価 (百万円)	差額 (百万円)
(1) 現金及び預金	13,270	13,270	-
(2) 営業未収入金	3,216	3,216	-
(3) 未収入金	1,646	1,646	-
(4) 敷金及び保証金	3,102	3,083	△18
(5) 長期預け金 返還整備引当金	25,430 △2,497		
	22,932	22,859	△73
資産計	44,168	44,076	△92
(1) 営業未払金	5,994	5,994	-
(2) 未払金	3,080	3,080	-
(3) 短期借入金	30,000	30,000	-
(4) リース債務 (*1)	1,016	1,244	227
負債計	40,091	40,318	227
デリバティブ取引 (*2)	2,477	2,477	-

(*1) 1年内返済予定のリース債務を含めております。

(*2) デリバティブ取引により生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法及びデリバティブ取引に関する事項

資 産

(1) 現金及び預金、(2) 営業未収入金、(3) 未収入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4) 敷金及び保証金

本社及び事業所の賃貸借契約に伴う敷金並びに航空機リース契約に基づく契約保証金につきましては、合理的な利率で割り引いた現在価値によっております。

(5) 長期預け金

航空機リース契約に基づく整備準備金につきましては、リース会社への拠出額と返還請求可能額の差額から生じる回収不能見込額について返還整備引当金として計上しているため、当該回収不能見込額を控除した後の金額について、契約期間を考慮し、国債の利回り等の利率で割り引いた現在価値によっております。

負 債

(1) 営業未払金、(2) 未払金、(3) 短期借入金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4) リース債務

リース契約期間を考慮し、合理的な利率で割り引いた現在価値によっております。

デリバティブ取引

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

区分	貸借対照表計上額
関係会社株式（非上場株式）	2 百万円

関係会社株式については、市場価格がなく、かつ、将来キャッシュ・フローを見積ることなどができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから上表に含めておりません。

(注3) 金銭債権の決算日後の償還予定額

	1年以内 (百万円)	1年超 5年以内 (百万円)	5年超 10年以内 (百万円)	10年超 (百万円)
現金及び預金	13,270	-	-	-
営業未収入金	3,216	-	-	-
未収入金	1,646	-	-	-
敷金及び保証金	470	1,463	1,168	-
長期預け金	1,534	19,778	4,117	-
合計	20,137	21,242	5,286	-

(注4) リース債務の決算日後の返済予定額

	1年以内 (百万円)	1年超 2年以内 (百万円)	2年超 3年以内 (百万円)	3年超 4年以内 (百万円)	4年超 5年以内 (百万円)	5年超 (百万円)
リース債務	143	147	153	140	101	330
合計	143	147	153	140	101	330

(デリバティブ取引関係)

1. ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

区分	取引の種類	契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引 以外の取引	為替予約取引 買建 米ドル	3,425	1,170	175	175
合計		3,425	1,170	175	175

(注) 時価の算定方法 取引先金融機関等から提示された価格等に基づき算定しております。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

通貨関連

ヘッジ会計の 方法	取引の種類	主な ヘッジ対象	契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)
為替予約等の 振当処理	為替予約取引 買建 米ドル	営業未払金	17,835	6,093	915
合計			17,835	6,093	915

(注) 時価の算定方法 取引先金融機関等から提示された価格等に基づき算定しております。

商品関連

ヘッジ会計の方法	取引の種類	主なヘッジ対象	契約額等 (百万円)	契約額等のうち1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的 処理方法	商品スワップ取引 受取変動・支払固定	航空燃料仕入 に係る支出	6,568	2,025	1,385
合計			6,568	2,025	1,385

(注) 時価の算定方法 取引先金融機関等から提示された価格等に基づき算定しております。

(1株当たり情報に関する注記)

1株当たり純資産額 231円65銭

1株当たり当期純損失 △363円16銭

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(追加情報)

(財務制限条項)

当社が株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社りそな銀行、株式会社日本政策投資銀行をアレンジャーとして締結したシンジケートローン契約には、次の財務制限条項が付されております。

- ① 2020年9月末日および2020年12月末日における貸借対照表上の株主資本の部の金額を0円以上に維持し、2021年3月期決算末日における貸借対照表上の株主資本の部の金額を25億円以上に維持すること。
- ② 2021年3月決算期末日における貸借対照表上の純資産の部の金額を0円以上に維持すること。

なお、当該契約の借入残高は次のとおりであります。

当事業年度
(2021年3月31日)

借入残高	短期借入金	30,000百万円
------	-------	-----------

以上